

Cariot Ver2.15 リリースノート

■ (1) リストビューの初期表示の設定を変更

* Cariot を Classic ユーザーインターフェース (表示テーマ) でご利用いただいている場合は注意事項をご確認の上で、Cariot 2.15 へのアップグレードを行ってください。

■ (2) アーカイブダウンロードの既定の日付を変更

■ (補足) アップグレードに失敗する場合の対応方法

*特定の環境で、アップグレードが失敗するケースがございますので、その際にご利用ください。

(1) リストビューの初期表示の設定を変更の注意事項

■ 対象

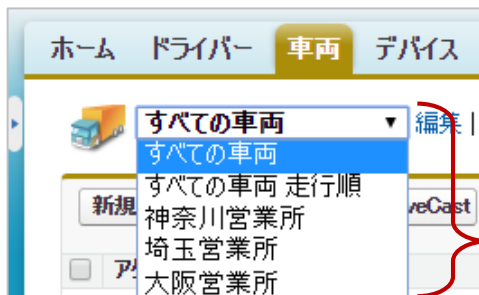
- Classicユーザインターフェース環境でCariotを利用しているお客様

■ 注意事項

- 現在Cariot 2.11以降のバージョンを利用している環境から、今回のCariot2.15へのアップグレードを行うと、Classicユーザインターフェース環境では、リストビューの固定が行えなくなります。(LEX ユーザインターフェース環境ではリストビューの固定が行えます)
- なお、Salesforce のユーザインターフェースは、Classic から LEX に切り替えることができます。LEX は Salesforce の新しいユーザインターフェースとなります。併せて LEX へのユーザインターフェースの切り替えをご検討ください。

参考：<https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CAR/pages/598442029/21+Cariot+Salesforce>

Classic 環境でのリストビューの固定について (Cariot 2.11)



ココで表示されるリストが、最後に見たリストで固定されます。
例えば「神奈川営業所」を選択して、[ドライバー]メニューに移動し、再度 [車両] メニューに戻ると、「神奈川営業所」リストが初期表示されます。

リストビュー

■ 課題 (要望)

- リストビューで初期表示されるリストが意図したものではない場合がある。
- リストビューで初期表示されるリストを固定したい。

■ 改善点 (対応内容)

- Salesforce Spring'19 にて、標準機能として初期表示するビューを固定する機能が追加されました。
- これまで Cariot 2.11 にて、最後に見たリストが固定で表示されるように独自のカスタムズを加えておりましたが、Salesforce Spring '19 のリリースに伴い、Salesforce Spring '19 の標準機能を使用するように変更しました。

LEX

1. 初期表示するビューを選択します
2. ピンをクリックします

リストビューが固定されると、ピンが青色になります。

ドライバー 最近参照したデータ

38 個の リストビュー

Carlot運輸ドライバー一覧

1 すべて選択

2 ✓ 最近参照したデータ (固定リスト)

ドライバー すべて選択

ドライバー すべて選択

(2) アーカイブダウンロードの既定の日付を変更

■ 改善点 (対応内容)

- ダウンロード開始日、ダウンロード終了日の既定値を Cariot を操作している当日から前日の日付に変更しました。
- これにより詳細な走行データのダウンロードがワンステップで実行できるようになりました。

LEX

デバイス ER2-14348(530118901806)

車両	デバイスタイプ	デバイスUID
	pdrive	pdrive-14348

関連 活動 詳細 ステータス **アーカイブダウンロード**

データをCSV形式でエクスポート

ダウンロード開始日
2019/03/21

ダウンロード終了日
2019/03/21

Classic

デバイス 走行データ ルート エリア 運行予定/実績 DriveCast レポート

デバイス ER2-14348(530118901806)

ページのカスタマイズ | レイアウトを編集する | 印刷用に表示 | このページを共有

◀ 最後に関いたビュー: ルート

走行データ [2] | 車両ステータス [1] | 活動予定 [0] | 活動履歴 [0]

デバイスの詳細

画面を開いた当日の日付ではなく、前日の日付が既定値となるように変更しました。

アーカイブダウンロードは、走行のあった日付の翌日から取得することができます。
そのため、既定値が前日の日付であれば、最新の詳細な走行データを日付の切り替えを行うことなく、[ダウンロード] ボタンをクリックするだけで取得することができます。

以下のページからアップグレードを行ってください。

<https://login.salesforce.com/package/installPackage.apexp?p0=04t0K000001AASR>

アップグレード CariotCore
コメント作成者: Cariot/パッケージ開発組織

現在の Cariot バージョン

これからインストールしようとしている Cariot バージョン

以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。
インストール済み: 2.14 (2.14) 新しいバージョン: 2.14 (2.14)

管理者のみのインストール **すべてのユーザのインストール** 特定のプロファイルのインストール

2 **アップグレード** キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
CariotCore	Cariot/パッケージ開発組織	2.14	2.14

その他の詳細 コンポーネントを表示

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。
2. [アップグレード] ボタンをクリックします。

(補足)

CARIOT 2.15 のアップグレードに失敗する場合の対応方法

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (1/7)

以下のようなメッセージが表示されて Cariot 2.15 のアップグレードが失敗する場合は、次ページ以降の操作をお試しいただき、デバイスオブジェクトの [活動を許可] チェック ボックスをオンにした後に、再度 Cariot 2.15 のアップグレードを実行してください。

パッケージ "CariotCore 2.15" のインストール要求は正常に処理されませんでした。salesforce.com 組織内のデータまたは設定情報への影響はありません。

インストールが何度も失敗する場合、通常の方法で Salesforce CRM カスタマーサポートにお問い合わせいただき、次の情報をお知らせください。

組織: Cariotフレクト実車セールス環境 (00D280000014TC0)

ユーザ: セールスLEX フレクト (0050I000008A0Ut)

パッケージ: CariotCore (04t0K000001AASR)

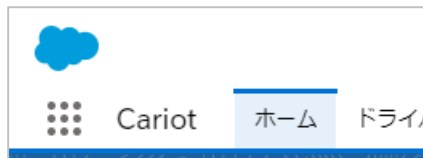
エラー番号: 742989889-765085 (658179458)

問題:

1. (LightningDeviceRecordPage) Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c] LightningDeviceRecordPage: Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c]

LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 9 ページから 11 ページをご確認ください。

Classic ユーザの場合

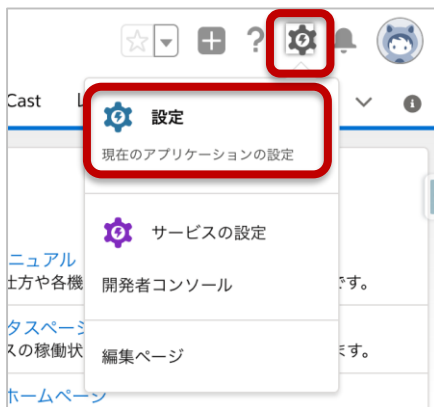
Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 12 ページから 14 ページをご確認ください。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (2/7)

操作手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (3/7)

操作手順 (LEX)



設定 オブジェクトマネージャ	
49+ 件の項目 (表示ラベル順)	
スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
デバイス	Cariot__Device__c

3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。



設定 > オブジェクトマネージャ デバイス	
詳細	詳細
項目とリレーション	説明
ページレイアウト	
Lightning レコードページ	API 参照名 Cariot__Device__c
ボタン、リンク、およびアクション	カスタム ✓
コンパクトレイアウト	表示ラベル(単数形) デバイス
	レポートで使用する ✓
	活動の追跡 ✓
	項目履歴管理

4. 画面右上の [編集] ボタンをクリックします。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (4/7)

操作手順 (LEX)

設定 > オブジェクトマネージャ
デバイス

レコード名 | デバイス名 | 例: 取引先名

データ型 | テキスト

追加の機能

- レポートを許可
- 活動を許可
- 項目履歴管理

オブジェクトの分類

これらの設定が有効になっている場合、このオブジェクトは Enterprise Application オブジェクトとして分類されます。これらの設定が無効になっている場合、このオブジェクトは Light Application オブジェクトとして分類されます。 [詳細はこちら](#)。

- 共有を許可
- Bulk API アクセスを許可
- ストリーミング API アクセスを許可

リリース状況 [ヒント](#)

- 開発中
- リリース済み

検索状況

この設定が有効になると、ユーザは検索時にこのオブジェクト種別のレコードを検索できます。 [詳細はこちら](#)。

- 検索を許可

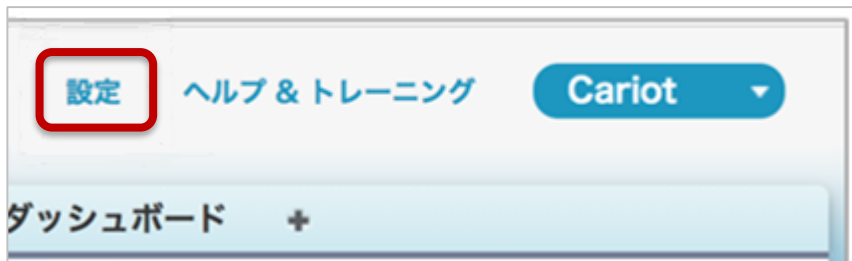
保存 | **保存 & 新規** | **キャンセル**

5. 画面を下方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

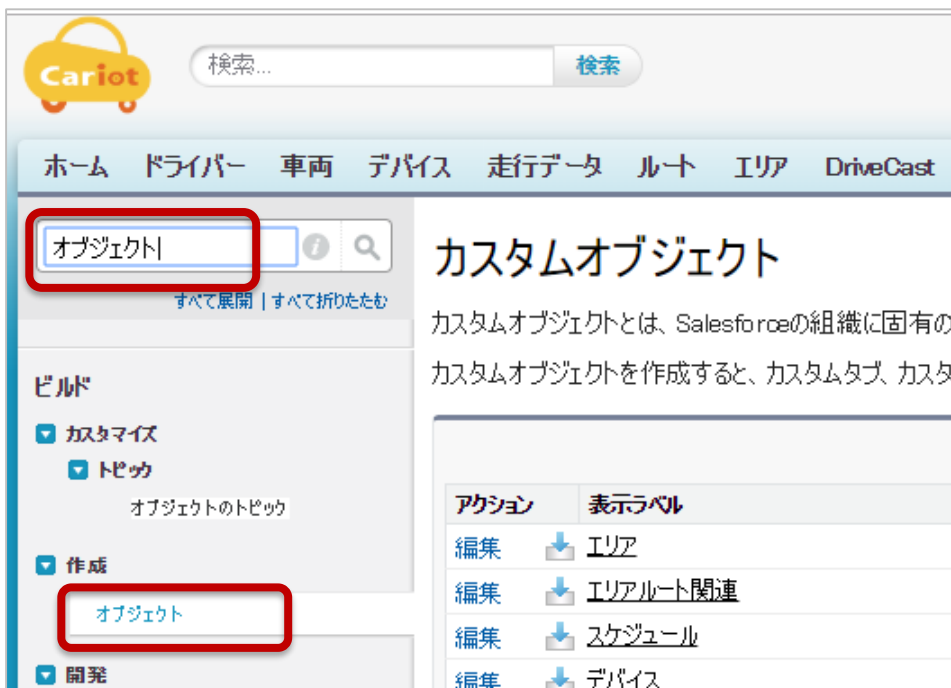
6. Cariot 2.15 のアップグレードをお試しください。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (5/7)

操作手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。
次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (6/7)

操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 一覧から [デバイス] をクリックします。

カスタムオブジェクト
デバイス (管理)

このカスタムオブジェクトの定義は管理されています。つまり、

標準項目 [0] | カスタム項目 & レレーション [0] | 入力規則 [0] | ボタン、リンク、およびアクション [10] | レコードタイプ [0]

カスタムオブジェクトの定義の詳細

表示ラベル	デバイス	編集
オブジェクト名	Device	
名前空間プレフィックス	Cariot	
API 参照名	Cariot_Device_c	

4. [編集] ボタンをクリックします。

Cariot 2.15 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (7/7)

操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクトの定義の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

カスタムオブジェクトの情報

タブ、レイアウト、レポートなどで表示される表示ラベルです。
名前または表示ラベルを変更すると、既存のインテグレーションと差し込みテンプレートに影響
表示ラベル

オブジェクト名は、API 経由でオブジェクトを参照する際に使用されます。
オブジェクト名 例 Account

説明

カスタムヘルプの設定

Salesforce 標準の [ヘルプ & トレーニング] ウィンドウを開く
 Visualforce ページを使ってウィンドウを開く

コンテンツ名

レコード名の表示ラベル型を入力

レコード名は、ページレイアウト、主要なオブジェクト、関連リスト、ルックアップ、検索結果で表示
「取引先名」になり、ケースでは「ケース番号」になります。レコード名の項目は、API 経由で参照
レコード名 例 取引先名

データ型

追加の機能

レポートを許可
 活動を許可
 項目管理
 Chatter グループ内で許可

5. 画面を下方方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

6. Cariot 2.15 のアップグレードをお試しください。